

[ 銘柄コード:4734 ]

# BEING

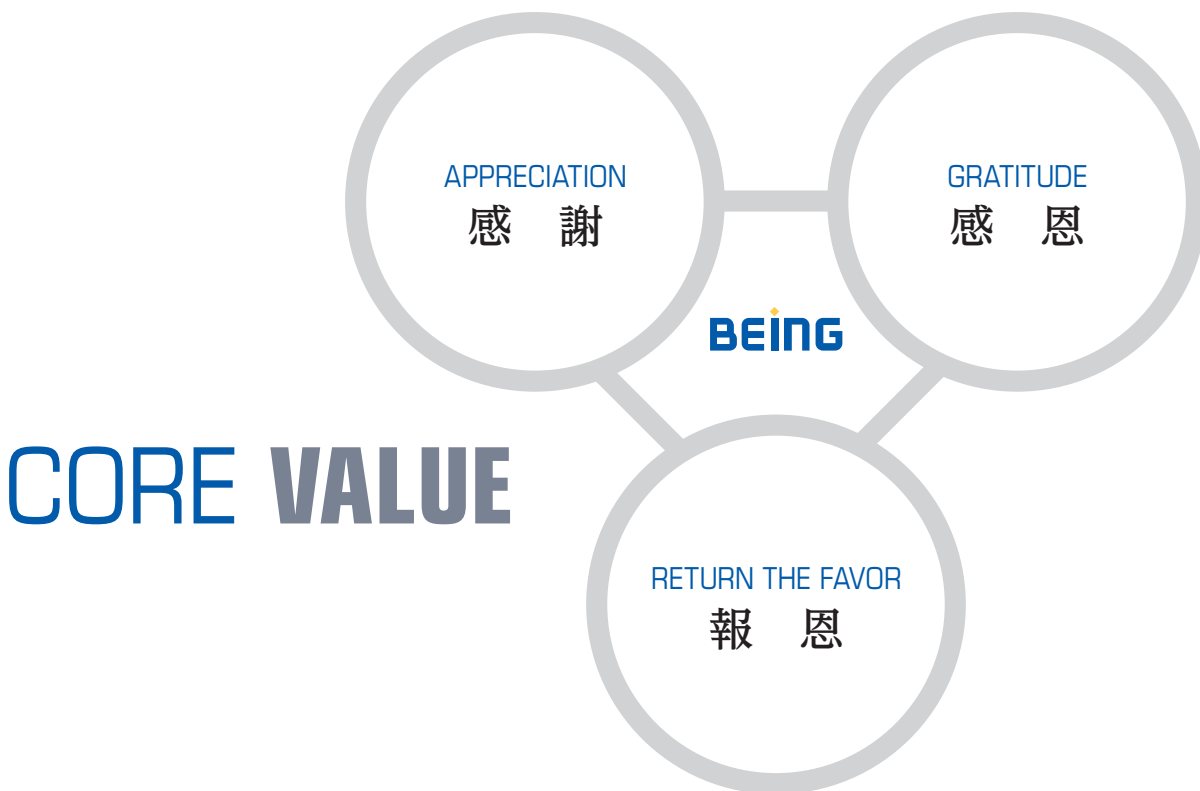
第36期 | ビーイング通信

2019年4月1日  2020年3月31日



## コアバリューについて

ビーイングのたゆまぬ歩みの礎となり、絶えず適切な方向へと導く源泉となってきたものが、創業以来のコアバリューである「感謝・感恩・報恩（感謝の気持ちを忘れず、恩を感じ、恩に報いる、の意）」です。ビーイングの企業理念・倫理規定として社員一人ひとりに確実に受け継がれており、事業運営の中核となっています。



## 開発力強化への取り組み

2013年、ミャンマーに開発会社を設立。プログラミング技術研修とあわせて日本語教育を実施することで、現在は当社の開発案件を受託できるオフショア拠点に成長しました。2017年、長崎県五島市に積算データ専門の入力センターを設立。さらに2019年5月には、Webアプリケーションの開発環境Ruby on Railsに特化した開発受託会社を子会社化するなど、グループの総合開発力強化に取り組んでおります。

## ◆建設関連事業

### 建設業界の業務フロー全体を支援する 「建設ICTソリューション」

積算ソフトのシェアNo.1（※）を誇るGaiaシリーズを筆頭に、建設業様向けソフトを販売しています。計画、入札、収支管理、書類作成、工程管理などの業務フローを総合的に支援する多種多様な商品群は、高い評価を得ています。

創業以来培ったノウハウを基に、ソフト間のデータ連携、ダウンロードサービスの充実、正確なデータの迅速な提供、お客様にご満足いただけるサポートサービスなど、時代の変化やニーズにあわせ、たゆまぬ改善活動を続けています。

※「積算ソフト利用実態調査」「建設ITガイド2007」（一般財団法人経済調査会）

Gaia Gaia10  
CLOUD

BeingProject-CCPM BeingBid  
Critical Chain Project Management Bid management system

BeingBudget 評点PLUS+

BeingCollaboration®

BeingCollaboration PM サガシバ

## ◆生産性向上コンサルティング事業

### 想定外を想定内にする プロジェクトマネジメントサービス

TOC-CCPM理論に対応した国産初のソフトウェアで、技術・サービス・システム開発など様々なプロジェクトの生産性向上や工程管理、経営改善に効果を発揮します。製造・サービス・ITなど多様な業界に採用され、プロジェクト管理ツール市場において国内シェアNo.2（※）を獲得しています。欧米・アジアなど海外のお客様にもご利用いただいております。

子会社であるビーイングコンサルティングのTOC専門部隊によるコンサルティングサービスを、管理用ソフトウェアとあわせてご提供するスタイルでご好評をいただいております。

※「ソフトウェアビジネス新市場2011年版」（株式会社富士キメラ総研）

BeingManagement 3  
Critical Chain Project Management

### TOCとは

1970年代後半にイスラエルの物理学者、故エリヤフ・ゴールドラット博士が提唱、1984年に同博士が執筆した小説仕立ての解説書「The Goal」によって世界的に普及しました。DBR、思考プロセス、CCPMなど目的に応じたソリューションを持ち、世界中の企業から多くの成功事例が報告されています。

## ◆設備関連事業

### 「どこでも、誰でも」を実現する水道・電気設備申請支援CAD

電気・水道設備の工事業者様向けのソフトウェアで、主に子会社であるプラスパイププラスが販売。工事図面、見積書・申請書類の作成に効果的です。2018年には、JW-CADユーザー向け立面図・縦断面図作成システム「plusCAD水道」と利益が見える現場管理システム「要」も発売開始。今後も互いの強みを活かし、より幅広いサービスを提供してまいります。

plusCAD 水道

plusCAD 電気 α

plusCAD 水道 J 要

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルスの感染によりお亡くなりになられた方に、心よりお悔やみ申し上げます。また、現在も治療を受けられている方に、一日も早い回復をお祈り申し上げます。

では、当期(2020年3月期)の総括及び今後の戦略、長期ビジョン等について、社長の津田よりご説明させていただきます。

## 厳しい状況が続く事業環境。 将来を見据えた新たな挑戦。

当期の上期は主力商品『Gaia10』やCADソフトウェアの販売等が順調に推移したことにより、堅調な滑り出しとなりました。しかし、下期以降の台風19号による影響、年明けの新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社のお客様である土木建設業者様に大きな影響を及ぼしたことから、売上高を除き期初の計画に届かない決算となりました。

新型コロナウイルス感染症は一旦収束しつつありますが、事業活動への影響は依然続いております。引き続き当社グループの経営成績に悪影響を及ぼす可能性が高いため、今期は当期以上の厳しい事業年度になることを覚悟していません。

さて、今期の重点戦略は、今後のさらなる成長を見据えた新たなビジネスモデルへの挑戦、すなわち『Gaia Cloud (ガイア クラウド)』の販売開始です。『Gaia Cloud』はクラウドを使用することにより、積算業務のスピードアップやサポート体制の強化等を実現し、建設業者様の生産性向上に寄与することができます。さらに、積算データの蓄積によるAI化や、今後投入予定のクラウド・サービスとの連携等、次への飛躍を想定しております。

ただ、従来のオンプレミス版の『Gaia』シリーズと比べて売上計上の時期に違いが生じ、販売初年度における売上高が小さくなります。その結果、『Gaia Cloud』の割合が高まる今後数年間は売上高が一時的に減少することが想定されます。将来を見据えた新たな価値提供の布石として、株主の皆様にはご理解いただけますと幸いに存じます。

あらゆる業界のお客様に価値を提供する企業

積極的な投資

Gaia  
Cloud

新しい  
クラウド  
サービス

人への  
投資

現在

建設業界への価値の提供

# 500年続く 企業へ



代表取締役社長

津田 誠

## 常に新しい価値を提供し 500年続く企業を目指す。

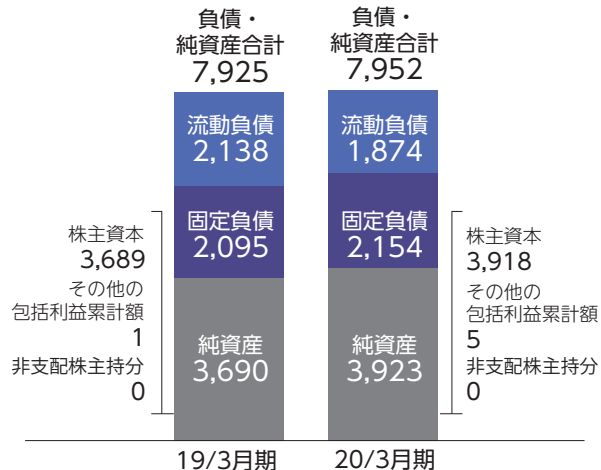
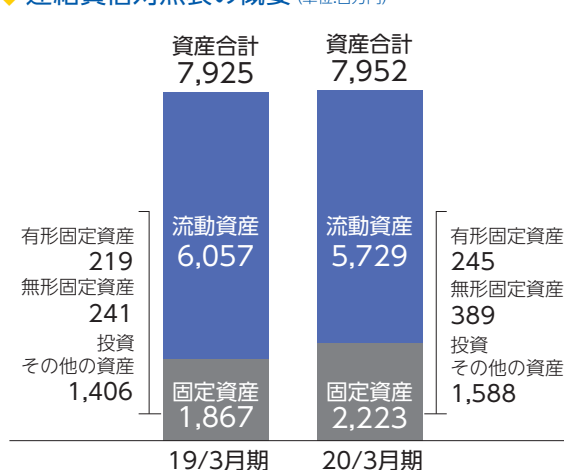
代表取締役社長就任時にも申し上げた通り、当社は「500年続く企業」を目指しております。「500年続く企業」とは、社会に対して常に新しい価値を提供することができる企業だと考えております。当社としては、まずは建設業界における慢性的な人手不足等の社会問題を解決するための価値提供が使命であると捉えており、腰を据えて商品開発に取り組んでまいりました。この度の『Gaia Cloud』は、当社が新しい価値を提供するはじめての一步になるものです。

今後さらに、建設現場向けの新しいクラウド・サービスの立ち上げや、人材の積極的な採用等、新しい価値を生み出すための投資を引き続き行ってまいります。現在の投資が5年後、10年後に実を結ぶよう、長期的な視点に立って事業活動を進めております。

当社は積算ソフトメーカーとして事業をスタートしましたが、当社の技術やノウハウを用いて解決できる社会課題がありましたら、建設業界以外の市場に挑戦することも考えております。生産性向上コンサルティング事業ではメーカーや製薬会社等、すでに当社のメインのお客様以外のお客様に対しても提案を行っております。社会に対して常に新しい価値を提供できる500年企業を目指し、さらに進化を続けてまいります。

今後も困難な事業環境が続きますが、この時代を乗り越えるための土台作りとして投資活動を行い、企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様には、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## ◆ 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



### Point | 総資産

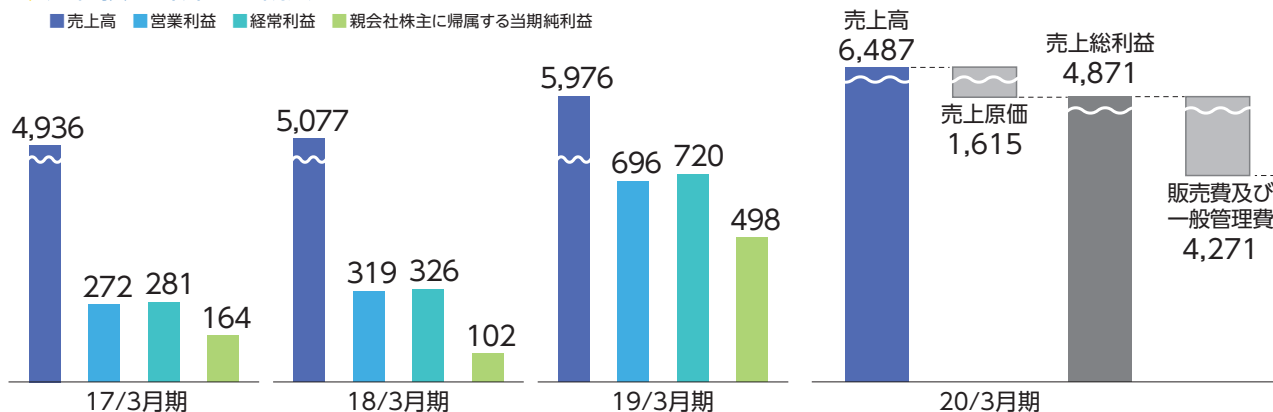
2019年5月に株式会社ラグザイアを子会社化したことに伴い、のれんが151百万円増加しました。また、受取手形及び売掛金が142百万円、保証金を含むその他の投資その他の資産が118百万円それぞれ増加し、現金及び預金が477百万円減少したことなどから、前期末に比べて27百万円増加し、7,952百万円となりました。

### Point | 純資産

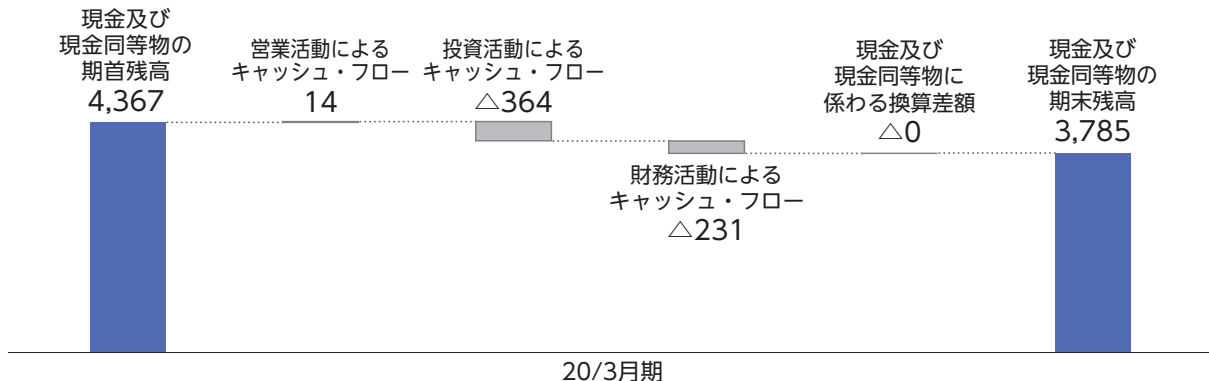
親会社株主に帰属する当期純利益の計上により395百万円、自己株式の処分により13百万円それぞれ増加し、配当により180百万円減少したことなどから、前期末に比べて232百万円増加し、3,923百万円となりました。

## ◆ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



◆ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



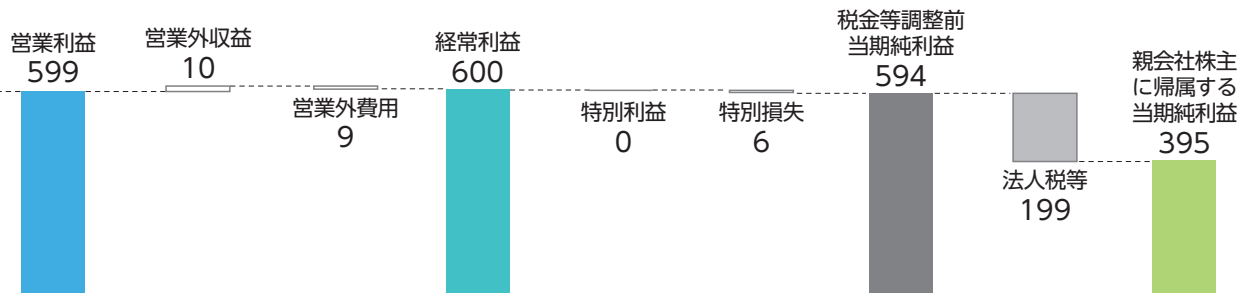
20/3月期

**Point | 営業活動によるキャッシュ・フロー**

税金等調整前当期純利益 594 百万円の計上、売上債権の増加額 116 百万円、その他の支出 134 百万円、法人税等の支払額 386 百万円などによる支出があったことにより、14 百万円の増加（前期は 1,107 百万円の増加）となりました。

**Point | 損益分析**

売上高は、第 2 四半期まで販売が堅調に推移していたものの、2019 年 10 月に日本列島に上陸した台風 19 号が大きな被害をもたらしたことから、主要顧客である土木建設業者様が災害復旧に追われたり、予定していた公共工事の発注が延期になった結果、前期比 8.5%増加の 6,487 百万円に止まっております。積極的な商品開発、採用を前期に引き続き進めており、人件費及びその関連費用が増加しております。この結果、経常利益は前期比 16.7%減の 600 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比 20.6%減の 395 百万円となりました。





## 土木工事積算システムのクラウド版誕生 作業時間の大幅短縮で生産性向上

当社は、土木工事積算システム『Gaia』シリーズから初のクラウド版『Gaia Cloud』を近日発売します。クラウドサービスでのデータ提供や、設計書を取り込むだけで積算が完了する全自動積算機能搭載をはじめ、システムをゼロから再構築したことにより、機能追加や見直しだけでなく、今まで以上にお客様の声を反映しやすいシステムへと生まれ変わりました。

### 特長

#### クラウド環境

1



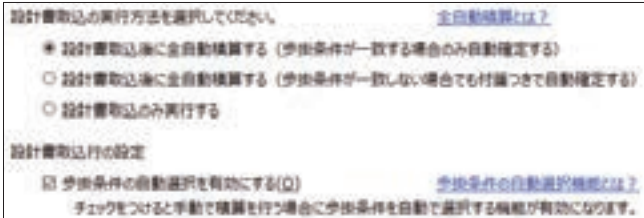
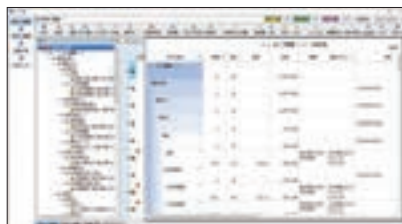
これまでの『Gaia』シリーズでは、積算に必要なデータ等を都度ダウンロードしてご利用いただく必要がありました。近年の工事入札には1円単位の正確な計算が求められるため、最新データへの更新作業は必須であり、多い時には毎月、その手間と時間がかかっていました。

今回、『Gaia Cloud』では、自動で更新される最新データを使った積算が可能になりました。さらに、お客様のデータはクラウド上に保存されるため、いつでも、どこでも操作でき、PCの入れ替え等によるデータ引き継ぎも不要です。また、ハードウェアの故障等によるデータ損失の心配もありません。

### 特長

#### 全自動積算機能を搭載

2



PDFやEXCELの工事設計書データを取り込む設計書取込機能はそのままに、『Gaia Cloud』では、最適な工種を自動的に見つけ、設計書通りに積算を実行する全自動積算機能を搭載しました。また、設計書取込にかかる時間は当社比10分の1に短縮するなど、作業手間を省いた効率的な積算を実現しました。



## 特長

## 機能強化

# 3

### ● 発注者マスタ

金額の端数処理等、工事発注者の特性に合わせた積算を自動で行う「発注者マスタ機能」は、より詳細な特性条件を設定できるよう強化。特性を細かく設定することで、さらに正確な積算を実現します。

### ● 経費計算の自動化

これまでは積算条件を変更するたびに再計算が必要だった、工事にかかる諸経費が自動計算されます。画面上に表示される工事費用を確認しながら作業を進めることができようになり、積算業務の手間を軽減します。

### ● 検索機能

検索条件が完全に一致しない対象も抽出できる「あいまい検索」に対応した他、検索結果の表示優先順位も改善しました。

## 開発者の声

『Gaia Cloud』プロジェクトリーダー 大島 誠司

『Gaia Cloud』は、これまでの開発資産や開発環境を一新し、ゼロから設計・実装し直した新しい商品です。Windows版『Gaia』が発売されて以来、20年以上の実績がある『Gaia』シリーズの中で、ここまで大規模に作り直すのは初めての試みでした。

そのため苦労したことも多く、『Gaia』の歴史とともに洗練され進化し続けてきた機能のうち、変えなければいけないことと変えてはいけないことの見極めが大変でした。これまでの『Gaia』シリーズに慣れたお客様が『Gaia Cloud』をご利用になる場合、初めてご利用の場合など、様々なシーンを想定し、どなたにも「わかりやすい」と感じていただけるよう、模索が続きました。

究極的な目標は、「設計書の情報をもとにボタン一発ですべての積算が完了すること」。その実現に、どのような機能やデータが必要かを検討し、検索機能を重点的に改良しました。設計書の文字列をより多く拾い出せるよう「あいまい検索」に対応し、AIのように最適な工種を高速で採用する仕組みを搭載しました。データ蓄積機能で検索情報が補完され、将来的には、このビッグデータを活用することで、より正確な積算結果を算出できます。これらの大規模な改良により、全自動積算を実現することができました。他にも、従来の『Gaia』で時間がかかる処理を洗い出し、内部設計から見直すことで高速化しました。設計書取込や金額計算処理、出力処理など、ストレスなく積算業務を行っていただけることで、「速くなった」と感じていただけたら嬉しく思います。

### ◆会社概要

商号	株式会社ビーイング (Being Co.,Ltd.)
所在地	本社 三重県津市桜橋1丁目312番地 TEL 059-227-2932 (代表)
設立	1984年9月18日
資本金	1,586,500,800円
従業員数	278名
主要事業	建設業向けアプリケーション …土木工事積算システム、情報共有システム、 見積・実行予算システム TOC関連アプリケーション …工程管理システム、サプライチェーン・マネジメント・システム
子会社	(株)プラスバイプラス …設備業向けCADソフトウェアの販売 Being (Myanmar) Co.,Ltd. …コンピュータソフトウェアの開発 (株)ビーイングDC …コンピュータソフトウェアの開発 (株)ビーイングコンサルティング …生産性向上コンサルティングサービスの提供 (株)ラグザイア …コンピュータソフトウェアの受託開発

### ◆株式数および株主数

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	8,257,600株
株主数	1,627名

### ◆大株主

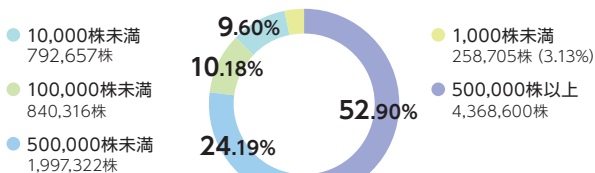
株主名	持株数	持株比率
有限会社ツールース	2,850,000株	34.51%
津田 能成	1,518,600株	18.39%
株式会社ビーイング	415,227株	5.02%
津田 由美子	381,300株	4.61%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	300,000株	3.63%

### ◆役員

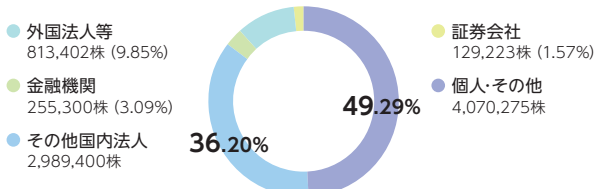
役職	氏名	担当	他の法人等の代表状況等
代表取締役会長	津田 能成		(有)ツールース 代表取締役 (株)プラスバイプラス 取締役会長 Being (Myanmar) Co.,Ltd. 代表取締役 (株)ビーイングDC 代表取締役会長 (株)ビーイングコンサルティング 代表取締役社長 (株)ラグザイア 代表取締役会長
代表取締役社長	津田 誠		(有)ツールース 取締役 (株)ラグザイア 取締役 (株)プラスバイプラス 取締役
常務取締役	後藤 伸悟	経理部長	(株)プラスバイプラス 監査役 (株)ビーイングDC 監査役 (株)ビーイングコンサルティング 監査役 (株)ラグザイア 監査役
常務取締役	井関 照彦	Gaia企画部長	(株)プラスバイプラス 取締役
取締役	賀川 美穂	総務部長	
取締役	花田 大作	建設営業部長 兼 特販部長	
取締役	宇治川 浩一	開発部長	(株)ラグザイア 取締役
社外取締役 (監査等委員)	大矢 勝		
社外取締役 (監査等委員)	楠井 嘉行		楠井法律事務所 所長 三重交通グループホールディングス(株) 社外取締役
取締役 (監査等委員)	津田 由美子		(有)ツールース 取締役
社外取締役 (監査等委員)	中 博		(株)クビド 代表取締役

### ◆所有者区別株式分布状況

#### 所有数別



#### 所有者別



## TOPICS 01

## 『SAP AWARD OF EXCELLENCE 2020』で「ザ・トップ・OEM/ISV・パートナー・アワード」受賞

当社は、2020年3月5日（木）、SAPジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、以下 SAPジャパン）が主催する「2020 SAP Partner Summit Day」にて発表された『SAP AWARD OF EXCELLENCE 2020』において、「ザ・トップ・OEM/ISV・パートナー・アワード」を受賞しました。

1998年に創設された『SAP AWARD OF EXCELLENCE』は、SAPビジネスへの貢献度、ならびに顧客満足度などにおいて、極めて高く評価されたパートナー企業に授与される賞で、今回で第23回目を迎えます。

当社の主力ソフトウェアである土木工事積算システム『Gaia』シリーズに組み込まれているSAP製品の2019年度における売上高および成長率において最もSAP OEM/ISVビジネスに貢献したことが高く評価されました。

当社は今後も最新の技術を積極的に取り入れながら、世の中にとって本当に価値のあるものを提供し続けてまいります。

※SAP、記載されているすべてのSAP製品およびサービス名はドイツにあるSAP SEやその他世界各国における登録商標または商標です。



## TOPICS 02

## オフィス移転（名古屋オフィス・大阪オフィス）

当社は、事業拡大に伴う人員増加への対応と業務効率化を目的として、以下のとおり営業所を移転および名称変更をおこないました。これまで以上に、部門間の連携を高めサービス向上に努めてまいります。

### ◆ 名古屋オフィス（2020年5月より）

〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目21番7号 名古屋三交ビル4階

### ◆ 大阪オフィス（2020年6月より）

〒556-0011 大阪市浪速区難波中二丁目10番70号 パークスタワー18階



名古屋オフィス外観

## TOPICS 03

## 『サガシバ』全国リリース



土木専門のコミュニティ&マッチングサイト『サガシバ』は、2020年1月20日に全国サービスを開始いたしました。現在、ご利用中のお客様には、現場ノウハウや情報の共有ツールとしてお役に立てていただいております。今後、さらに活用が進むことで蓄積される情報やメーカーの製品情報に加え、情報収集が『サガシバ』で完結する付加価値をお客様にご提供できるものと考えております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	毎年3月31日 (その他必要がある時は、あらかじめ公告する一定の日)
期末配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話番号:0120-232-711 (通話料無料) 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の掲載	電子公告 ※ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告の掲載ホームページアドレス <a href="http://www.beingcorp.co.jp/">http://www.beingcorp.co.jp/</a>
銘柄コード	4734

\*株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

\*特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎします。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。